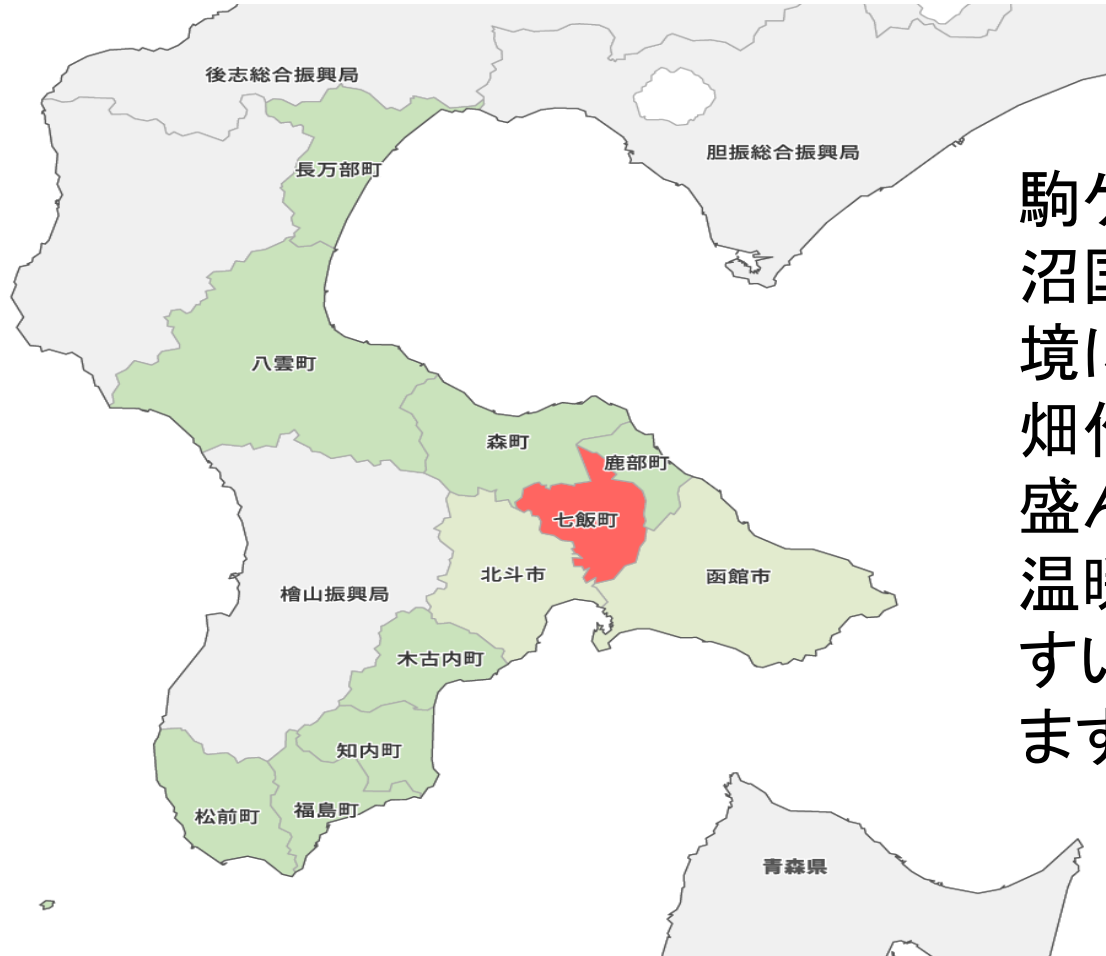


令和5年度
地域生涯学習活動実践交流セミナー

渡島管内の取組

発表者 七飯町教育委員会 生涯教育課 高瀬 佳大

七飯町について



駒ヶ岳と大沼・小沼・蓴菜沼を有する大沼国定公園や横津岳など豊富な自然環境に恵まれ、地域産業としては、稲作や畑作・果樹園などの農業と酪農・畜産が盛んな町です。
温暖な気候で、降水量が少なく過ごしやすい気候の下、四季を楽しむことができます。

七飯町について

- ・面積 216.75 km²
- ・人口 27,544人(令和5年12月末)
- ・町の木 赤松
- ・町の花 りんごの花
- ・特産品 りんご、大沼だんご





渡島社会教育主事会研究テーマ決定

道主事会のメインテーマを受け渡島社会教育主事会の令和5年度研究テーマを設定

研究テーマ	アフターコロナと社会教育	
研究形態	1年目（R5年度）	広いワードで設定し「何が必要か」を検討 ※個人の課題 = 渡島の課題 市/機関の課題 = "
	2～4年目（R6～8年度）	1年目の検討から中身を絞り込み研究 ※「アフターコロナと〇〇」 「〇〇と社会教育」、「〇〇と生涯学習」 等
	5年目（R9年度）	4年間の研究から結論を導き出す

渡島社会教育主事会としての取組

協議で出された意見

- ・事業の見直し・振り返り
- ・元々あるものを輝かせる
- ・町/機関でやりにくいことを主事会で・主事会だからこそ
- ・主事会で行ったことを自分たちのフィールドに
- ・体験活動＝社会教育
- ・自然豊か(海)/水辺の安全
- ・職員のスキルアップ
- ・アフターコロナの体験活動
- ・各市町の取組を見てみたい+運営に携わる
→プログラムお任せ・実体験での関わり
- ・地域の関わりが大事



- ①アフターコロナの体験活動
- ②職員のスキルアップ

①アフターコロナの体験活動

七飯町の体験活動紹介

事業名：大沼アクションワールド

体験活動は子どもたちの成長に欠かすことはできない活動であるため、コロナ禍であっても0にしていけないという思いから、令和3年度から大沼アクションワールドを開催した。好評のため、内容を変えながら現在も実施している。

◎主な体験内容

- ・カヌー体験
- ・モルック体験
- ・ドローン体験
- ・工作体験
- ・弓矢狩り体験
- ・ブルーベリー狩り体験

◎対象

- ・先着35名
- 小学校4～6年生
- または
- 小学校1～6年生

◎スケジュール(例)

- 午前：工作体験
- 昼休憩
- 午後：ブルーベリー狩り体験
- カヌー体験

◎コロナ禍とコロナ後の変化

- ・コロナ禍：人数を限定 → コロナ後：対象の幅を広げた
- 当初はカヌー体験・工作体験
- ドローン体験・モルック体験などを追加し活動の幅を広げている



カヌー体験



モルック体験



ドローン体験



工作体験

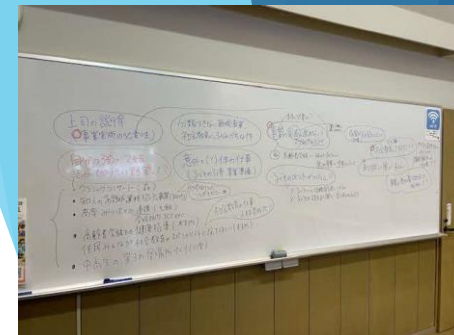


弓矢狩り体験

②職員のスキルアップ①

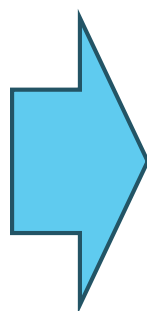
渡島社会教育主事会「しゅじトーク！」の開催(R6.1.29/ネイパル森にて)

目的～研究テーマである「アフターコロナと社会教育」に基づき、各市町・機関における社会教育の動向や課題を共有するとともに、改善に向けた協議を行い令和6年度以降の研究テーマ、研究・研修へと繋げていく



◎社会教育に携わり楽しいと感じるところ

◆社会教育に携わり大変だと感じる場所



◎人との出会いがあることで、自身への成長へ繋がる

◎相手の成長を間近で見ることができる

◎自由度の高い分野なので自分の好きな事業を計画できる

◆事業実施の必要性を見失う・事業の見直しが進まない

◆成果(事業効果)が見えにくい

◆そもそも社会教育とはなにか

◆事業に参加してほしい層が来ない



特に…

社会教育に取り組む中で

自分の「**スキ・得意**」は何なのか

その「**スキ・得意**」を「**学び**」へ変換し社会教育事業に
どう盛り込み活かしていけるのか(野望でもいい)

そんなことを考えながら、社会教育に携わることができるのも、
社会教育のよさでありやりがいいのではないかと思いました。

②職員のスキルアップ研修②

趣旨～他市町及び機関が開催する事業や会議の見学、運営参加を通して得られた学びを持ち帰り、実践することで職員のスキルアップ及び社会教育行政の底上げを図る

内容

①七飯町～函館高専連携事業「親子科学体験」

- ・趣旨：函館高専と連携し、町内の児童を対象に科学を用いた多様な学習機会を提供し、科学に興味を持ってもらうことを目的とする
- ・内容：紙ヒコーキづくりを通して、なぜ空を飛ぶことができるのかを学ぶ
- ・狙い：科学を用いた多様な学習活動を展開しており、青少年体験事業のネタを獲得する外部機関を巻き込んだ運営のノウハウやコツについて学ぶ

②ネイパル森～冬の大冒険

- ・趣旨：北海道の冬でしか味わえない自然体験を通してふるさとへの愛着を育む
- ・内容：大沼氷上体験、かまくら作り 等
- ・狙い：体験活動に乏しくなりがちな冬季において、冬季「だからこそ」できる事業のネタを獲得する子どもの対応が抜群にうまいネイパル職員から子どもの興味関心を惹きつける運営ノウハウを学ぶ

③鹿部町～社会教育委員会議

- ・趣旨：会議の風景や進行の仕方を見学し、自分たちの市町で行う各種会議の在り方等について考える機会とする
- ・狙い：委員の若返り化、雑談のような雰囲気で会議を展開し、委員が率直に意見を出し合える会議の雰囲気づくりを意図的に作り出している。会議を見学することで、職員の姿勢を学ぶ